

EC センターの活動状況について

①業際化、②国際化、③ビジネス環境変化への対応を重点テーマに活動

JEITA/EC センターでは、IT・エレクトロニクス業界の発展に貢献することを目的に商取引情報及び技術情報を企業間で電子交換・再活用が可能となるよう、用語・取引に係わる情報の種類・形式を標準化し維持管理を行っています。また、その他電子商取引の普及・促進に関する以下の事業を行っています。

- (1) 当業界関連分野における EC 戦略課題の検討及び具体化
- (2) 関係情報に関する標準の拡充と維持
- (3) EC 実用化の検討及び推進
- (4) 国内外関係機関・団体との情報交流、国際協調及び調査研究

上記の事業を推進する中、世の中の動きを考察し、EC センターの重点取り組みテーマとして①業際化、②国際化、③ビジネス環境変化への対応の3テーマを掲げ活動しています。また、将来を見据えた活動の指針を探るべく将来 VISION 検討 TF を立ち上げ、現状の課題確認と電子商取引の将来像につき検討を始めました。(図2)

具体的には①業務②技術③先進事例、他業界という3つの視点から EC の変遷、現状、近未来の変化をとらえ、今後の EC 全体像、将来の活動方向を導きだせるように検討しています。

世の中の動向とECセンターの重点取り組みテーマ

【国内の動き】

- ・円高是正、株価上昇等緩やかな回復基調
- ・電子記録債権法対応の全銀電子債権ネットワーク設立

【海外の動き】

欧州依然とした景気低迷、一部新興国の経済成長鈍化など不透明で厳しい競争環境

【JEITA業界の取り巻く環境】

- ・グローバル事業拡大
- ・他業界との取引拡大(自動車、通信等)
- ・欧米、韓国、中国企業との競争激化、一層の構造改革、事業効率向上が必要

【標準EDIの重要性】

IT、エレクトロニクス業界では、グローバルでの量・質・スピードともに、

- ・国内同等の高いレベルの情報交換及びサプライチェーンの確立
- ・他業界と連動可能な企業間情報連携基盤の拡充

【ECセンター重点取り組み】

①業際化

- ・海外EDI調査(自動車業界等)

②国際化

- ・ECALS辞書の海外デファクト化、ECALS実用化の促進
- ・海外取引モデル適用性・課題整理

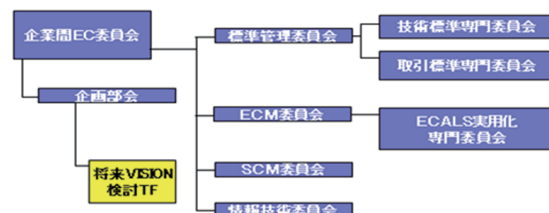
③ビジネス環境変化への対応

- ・電機業界内取引⇒自動車、通信等の他業界取引増。ビジネスモデル、ニーズ調査要
- ・将来VISION検討TF開始

また、将来を見据えた活動の指針を探るべく将来 VISION 検討 TF には日本電気、富士通、日立製作所、アルプス電気、村田製作所、TDK、KOA、京セラよりご参加いただいています。このように EC センターでは企業間 EC 委員会から下部組織に至るまで、セットメーカーと部品・デバイスメーカーが一つの委員会を組織して事業を推進できる体制を構築しています。(図 3)

また自動車関連等などの他の関連業界団体とも積極的にリエゾン関係を構築することにより、重点テーマである①業際化、②国際化、③ビジネス環境変化への対応に対しても、迅速かつ正確に推進しています。EC センターは今後ともより提案型の委員会活動を通して IT・エレクトロニクス業界の発展に貢献したいと考えております。

ECセンター推進体制



All Rights Reserved. Copyright © 2015 JEITA

ECALGA

図 3 「EC センター推進の体制」

将来VISION検討TFの取組み概要

【検討の背景】

- ・取引関係の変化：電機業界内取引⇒自動車、通信等業の他業界取引増
- ・ビジネスモデルの変化：相対取引⇒グローバルで、EMS、3PLなど関与者増など

目的：現状の課題確認と対策

①業務視点(SCM/ECM)
自社の業務に
起きている変化、
その背景、課題把握

②技術視点
技術面の変化、課題把握
スマホ、携帯電話などの
利用形態の変化

③先進事例、他業界、
グローバルでの取り組み
調査

【将来VISION検討TF 発足】

参加企業：NEC、日立、富士通、アルプス電気、KOA、京セラ、TDK、村田製作所

ECの変遷、現状、近未来の変化を捉え、今後のEC全体像、将来の活動方向検討。(将来イメージ：会社間のシステムtoシステム連携から組織内の人to人連携/SNS/ライフサイクルを通じた情報連携/電子債権活用など)

All Rights Reserved. Copyright © 2015 JEITA

ECALGA

図 2：「将来 VISION 検討 TF 取組み概要」 ECALGA セミナー (3/11) 資料より抜粋